

被災地の教訓胸に

被災地の教訓胸に 前島・泊小児童ら 総合事務局が学習会

未来を担う子どもたちに防災意識を持ってもらおうと沖縄総合事務局はこのほど、那覇市おもろまちの同事務局災害対策

室で防災学習会を2日間、那覇市立前島小学校の5年生44人と泊小学校の6年生145人がそれぞれ

にわたって聞いた。の被災地の状況や当時の映像などを見ながら津波の怖さを学んだ。過去に津波被害があつた



小学生対象に開催される防災学習会—那覇市おもろまちの沖縄総合事務局

大橋ひかりさん(12)は「皆さんが大人になって子供を持ち、地域と関わるようになっても防災意識を忘れないでほしい」と呼び掛けた。

た岩手県大槌町の海岸近くにある鶴住居小学校と釜石東中学校の児童生徒の震災時の対応が紹介された。日ごろの訓練通りに中学生が小学生の手を引いて避難し、途中で出会った幼稚園児を台車に乗せて移動させるなどした例から、防災教育の重要性を学んだ。県内河川の水難事故の事例や雨によって川が急激に増水する「鉄砲水」の仕組みなどの説明もあった。

喜舎場正秀防災課長は「皆さんが大人になつて子供を持ち、地域と関わるようになつても防災意識を忘れないでほしい」と呼び掛けた。

泊小学校6年IIは「起きたことを想定して家族で話し合った。学んだことを忘れず防災意識を持って行動したい」と話した。

(2012年4月17日 29面)

☆みんなの学校・地域では、災害の時どこに避難するのかな？ 確認してみよう！

年 組 名前